

びじゅつ

ゆったり生きるリズム



時を刻くり貫ぬく

1998年 白みかげ石 100×170×130㌘ (アントワン・サイトウ氏撮影)



稔る

1998年 赤みかげ石 224×140×137㌘ (アントワン・サイトウ氏撮影)

びじゅつ

創

作品を見たとき、作り手の「生きるリズム」が表れているな、と感じることがある。エを持つ。畑を耕し、鶏を飼う人か、ゆったり心豊かに暮らしている人か。

「田舎で暮らす僕には、自然のリズムに、ゆったり耳を傾けている人ではないと生み出せないだろう。」

彫刻家 斎藤 智氏



もともとは僕も、経済学を志して哲学を、宗教や美術を舍む幅広い人文学を志向していたんだと思う。ただ、自分が選かった。つづく、ゆった

【さいとう・さとし氏】上伊那郡飯島町出身。1935（昭和10）年生まれ。61年に慶応大卒業後、カナダ・マギル大大学院へ。経済学を専攻したが、留学中に美術に転進。65-67年帰国、島岡達三氏の工房で作陶。67年以降カナダ在住、彫刻に向かう。80年ブロンフマン大賞（カナダ）、96年度第24回長野市野外彫刻賞など受賞。

「カナダの雄大な自然に接しては、そもも感じた。でも人間は本来、こんな猛烈なスピードでは生きていけない生き物だと思うんです。このままだと、個人も社会も遠からず破たんしてしまう。」